



H.3.9.1

NO.51

—発行—

〒869-12

熊本県菊池郡

大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の聖

TEL096

293-8100

罰死事件報道について

(自閉症の立場から)

理事長 田中 稔

広島県の私立情緒障害児施設『風の子学園』で二人の入園生がタバコを吸った罰として、コンテナに閉じ込められ死亡するという事件が起こりました。何とも痛ましい怒りを覚える事件です。炎天下のこの暑さの中でコンテナに閉じ込め、水も与えない等は常識を外れた教育的罰というより殺人に等しい行為です。

教育は『共育』とも書きます。『子供と子供達』『子供と親』『子供と教師』共に育ち合う温かさ、柔軟さが『教育』、『共育』には必要です。自分も育つ事を忘れた「一人善がりの経験主義」「規則主義」「権力主義」を振り回す指

導者や教育者に子供を預かる資格はありません。面会や帰宅や保護者会等の自由の無い閉ざされた施設は恐ろしいですね。

登校拒否児を抱えた親は苦しんで、どこも行く所が無くこんな施設でもやむなく預けられたのでしよう。この様な事件が起こる度に公的機関の役割(学校を含む)や受け皿の無さが何時も問題になります。

今回の事件についての各マスコミの報道内容を見ますと、その言葉の使い方の誤りと理解の浅さに驚かされます。『情緒障害』『登校拒否』『自閉症』これらの言葉の定義や内容が解っておられない様に思います。『登校拒否』と『自閉症』では成り立ちや対処法が全く異なります。『自閉症』が相変

わらず、本人の意志や意欲に基本的な問題がある障害として扱われています。自閉症についてはこの二十年間の研究の積み重ねで、育て方が原因では無く、脳の発達に基本的な障害があつて起こっている事が分かっています。「見る」「聞く」というメカニズムが分かつてきて視力障害、聴力障害への対処法が変わってきた様に自閉症について色々分かつてきた事を正しく知って頂く事が対処の第一歩と考えます。

自閉症の場合には見る、聞くといった理解されやすい状況と異なり、その示す奇妙な行動や症状が理解されにくい脳のメカニズムの障害であるが故に「狭い経験」「権威」「感情」で扱われやすくなります。常に子供から学び、科学する謙虚な姿勢を持つて頂きたいと思えます。自閉症児者には多様な受け皿が必要といわれていますが、その前提となるのはその様な姿勢を持つた常識ある人間が、一人の人格を

持った、たまたま障害を持って生まれた人間と共に育つという考え方なのではないでしょうか。

療育シリーズ

自傷行為

園長 土井尚典

ある施設から自傷行為の激しい自閉症児について相談があった。早速日を決めて指導員と一緒に様子を見に出掛けた。20才の男子で両ほほ、鼻柱、額などたいたいたり、ぶついたりして黒くなり、また血も滲んでいた。見ていても怖くなるような顔のたたき方であった。何かを言いたいのだろうか、自分をたたくことが刺激となり更に激しい自傷であった。私には「自傷行為」には映らず「何か言ってる」と思えた。ケース記録もしっかり書いてあったが、ケース検討よりもこの自傷を止めることが先と判断し、指導にかかった。約1時間かかって、比較的落ち着かせることが出来た。コミュニケーション

が取り易いこと、指示に従う力があることやベースに多動性があることが分かった。まだ完全でないのもう1セッション行うことにし、2回目は指導員に任せた。そばで見ているとかみつきや引つ掻き等の行動がでてき、その後は笑顔が出て来た。自分への攻撃から人への攻撃が短時間に出て来たことは収穫である。私達の経験では人への攻撃が出て来るとしめたものである。人への攻撃は良くないことであるが心がひらかれるプロセスとしては良いことであると捕えている。訓練後、指導員にどうだった？と聞いたら、「素直ないい子ですね、指示は通るし、従おうとする姿勢があります。もう少し付き合ってやれば良いかも知れませんが」と言っていた。お母さんにもお会いすることができお話を聞いた。さかんに自分の育て方が間違っていたのではないかとおっしゃっていたが訓練を通して感じた彼は素直さや指示に従う姿勢が感

じられ、決して育て方の間違いではないことが分かった。きっと、いつの間にか彼の歯車と家庭の歯車が狂い修正しようとするほどの歯車が狂って行ったのだと思われる。親の育て方はベースに素直さや優しさが育って居れば十分である。

担当の指導員の方もびっしり書かれたケース記録から一生懸命研究され、指導の方向を模索されていた苦労が伺われた。こんなに落ち着いた彼を見るのは初めてですとおっしゃった事から推察しても、このケースは情緒の安定ができれば指導が楽になると考えられる。今後の課題は山のようにあるが苦勞しがいがあると思われる。今後の指導には、私達はタッチできないが、担当の先生の目の輝きから、きっと良い成果を作り上げてくれると信じて退席した。自傷を自傷として捕えず先ずは何かの「訴え」(サイン)として捕えた方が良いと思われるケースであった。

夏祭り

田辺剛政

今年の夏祭りは、午後7時の開始までに、何度も小雨が降り会場を室内にするか、外でするかを判断にとても悩まされました。結局7時10分前に大雨になり、急遽メイン会場を食堂に移すと雨も止んで本当に恨めしい雨でした。しかし、夏祭りは、マモミモ野望のテーマに乗って登場したミモミこと三池指導員(うりふたつ)の司会で賑やかに始まりました。今年も、高校生のボランティアさんがとても多かったので、大津高校、城北高校、菊池女子高校それぞれにゲームコーナーを担当してもらいました。1、4班それぞれもゲームコーナーを出したので施設の1・2階全部使って9つもコーナーができ、あちこちで歓声があがってとても盛り上がり、中でも3班の廊下を使ったお化け屋敷は本物顔負けの出来で本当に怖がっている人がたくさんいました。ディ

スコの時には雨も上がっていたので全員中庭で踊りに踊って、少し時間もオーバーしましたが、サンバおてもやんで楽しいひとときも幕を閉じました。今年はボランティアの皆さんが雨にも拘わらず夏祭りを盛り上げて下さったことに感謝!

夏祭り(司会)

三池真奈美

初めて自分の役割が司会と聞いたときは、周りの職員から「新人がするのが毎年恒例だから。」と教えられ、そーなのかなと思っただけでした。テーマが『マモミモ野望のテーマ』に決まりミモミに変装すると聞いたときには、何だか嫌な予感がして、1週間前位からは暑さと極度の緊張のあまり食欲がなくなっていました。いよいよ夏祭り当日、午後7時。園生は全員食堂でスタンバイしていました。さあ、頑張るぞ!オレンジ色の口紅で顔を塗り、ロング

ヘアのかつらをかぶって黒いマントを付け会場へ。マイクもち、何を話したのかほとんど覚えていないのですが、終わった瞬間に体中の緊張がぬけ、更衣室に1人で座り込みしばらく放心状態のまま動けませんでした。

食堂営業中

楽しい夏休みが終わって食堂に来てみると、光り輝く床。

「わー、キレイ」と思わず独り言。

長い間使われていた床面は、破れてポロポロだったけれど、全部張り替えてピカピカな食堂になりました。

「えっ、誰かさんはもう傷を付けたっちゃったって。」いつまでキレイでいるかなあ。みんな大事に使おうね。

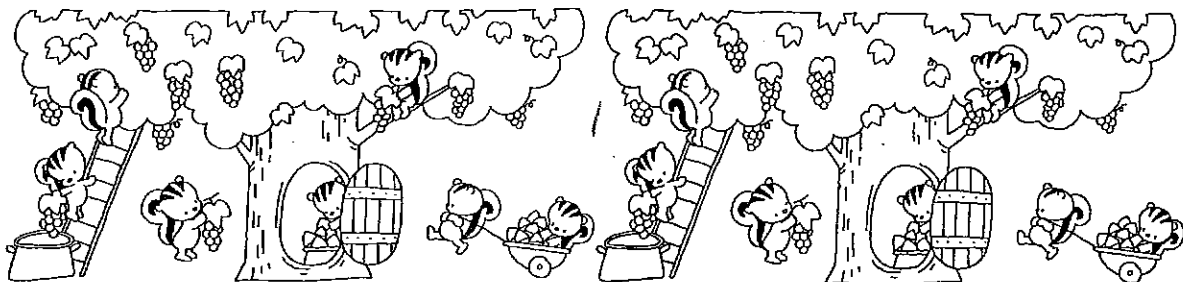
まだまだ暑い日が続きますが、キレイになった食堂で、楽しく食事をして、暑さに負けずに元気に過ごしましょう。

高木

3班 海水浴

夏のキラキラした太陽が容赦なく照りつける。木工班である3班も、伸び放題に伸びた草の前に立ち、むんむんとした、草の匂いを嗅ぎながらせっせと草を取る。汗が額や腕、足と、いたる所を滑り落ちる。「あと少しよー頑張れー。」職員の声が飛ぶ。レクを前にしての草取りで“最後の一頑張りだ”という感じが入った作業だった。今度の3班レクリエーションは初の福岡県志賀の島への海水浴だった。「やったね。今度は海だね。」職員が笑顔でいうと、皆も次第に笑顔になった。心待ち顔になった。ところが、である。当日、7月7日木曜日、この日は大雨になった。仕方なしに福岡まで高速にのってドライブにでたがやっと福岡市に着いたという所であまりの大雨で、帰路が不安になり引き返してしまった。一目海だけでもという思いがむなしく去った。あれから大分たち、夏も終わりに近づいているがついに3班は今年海へ行けなかった…。草取りの時に何かの拍子にふと、あのとき思い描いた海を見ることがある。来年は、きっと行けるといいね。

坂本



4班 夏はやっぱり…

楽しかった夏季帰宅週間も終わり、三気の里にまた賑やかな日が戻って来ました。涼しかったお盆が嘘のように、夏季帰宅週間が終わったとたんに厳しい残暑…。やっば、こんなに暑い日はプールへGo! と言いたいのですが、農耕班の現実は甘くない。瓜はどこ? かぼちゃは? といいたくなるほどに成長した雑草たちに占領されてしまった畑。(遊びまくった2週間のツケはでかい)

そうして1週間のスケジュールは、朝も昼も、くる日もくる日も「草取り」となりました。細〜い山芋のつるに気を配りながら草を刈った民さん、さゆりちゃん、由美ちゃん、修ちゃん、正利さん。「もう休みは終わったの〜」とのんびりペースの武彦君、創君、信ちゃん、博君、典君。もくもく頑張るりえちゃん、富多三さん、宏幸君、まーちゃん、ゆうこちゃん、光紀君、敬ちゃん。山盛り一杯賞潔君。そしてこの夏一番の頑張り賞は、帰宅中も自宅と親戚の家の草取りをして、真っ黒けになって帰って来た陽治君。(いーぞ、4班の鏡!)

4班と草との戦いはまだまだ続くけど、畑がきれいになった暁には……

“プールへGo!” よ。

平川



1 班 夏だ、そ〜れ草取りだ

室内作業が多い1班ですが、今回は、夏場になると畑に出ることもいつもより多くなりますので、その様子をお知らせしたいと思います。1班の畑には現在、とうもろこし、アスパラガス、さつまいもが植えてあります。午後から、麦藁帽子に長靴のスタイルに身を包み、1人1つずつコンテナを持ち、畑へと…。「コンテナ一杯草を取るんだよ」の掛け声に雑草に取りかかります。1本1本丁寧に取る博ちゃんとはじめ君、背の高い草を途中から取りパラパラと楽しそうにコンテナに入れるさとちゃん、暑いのが苦手だけど大部我慢してできるようになったのりちゃん、うねの間を丁寧に取ってくれるのぶはるさんとたつじさん、沢山ある所へ行って黙々と取っているただちゃん、時折、草を取りながら芸能界の話が出てくる久美ちゃん、終わる頃には、顔中が真っ黒になっている勝ちゃん、以上が草取りの様子ですが、作物の方は、職員の方が未熟者でありまして、今一つですがみんなでおいしい物が食べれるよう頑張りたいと思います。

武藤

2 班 どんなプレゼント？

あつ〜い、あつ〜い夏。三気の里にも蝉の泣き声が響きわたっています。そんな暑さにも負けじと作業に取り組んでいる今日この頃です。本当ならみんなだって、クーラーの効いた部屋でゴロゴロしていたいはず。それなのに“なんでこ〜んなくそ暑い中、作業なんかしなくちゃいけないの？”思っているのでしょうか。そこは、2班の職員。ぬかりはなく、我が2班のお城へ冷蔵庫をいただいて参りました。少しでも冷たい麦茶を！というかつてからの希望がかなえられた訳です。作業の後のあの一杯がたまらないんですよ。みんなの顔がフツと和らぐのを見ると、こちらも疲れがどこかへ飛んで行くようです。みんなが毎日毎日頑張ったから、夏休みでお家に帰っている間にプレゼントがとどきました。今、冷蔵庫の中にはプレゼントが入っているんだけど、このことはまだ、だれも知りません。きっとまた、作業頑張った時のお楽しみなのかな？

清田

キャンプ

坂井省英

第1回自閉症児者の実践キャンプが、8月5日～8日の4日間、三気の里の施設を利用して実施されました。

キャンプは、長期宿泊経験の少ない、13歳以上のお子さん17名、スタッフ35名で構成され、「指示に従い頑張る」という課題を中心に、スタッフはお子さんの働きに対して援助して行くといったものでした。開会式が終わると、ご父兄にはお帰り頂きました。無情の別れに反発してか、沢山のお子さんが抵抗を見せ、あちこちでスタッフにつかみかかるシーンが見られました。

日課は体操をかわきりに、午後は草取り作業、廊下掃除といったように作業を中心とした、三気の里のメニューで展開されました。楽しいキャンプと思い込んでいたお子さんには大ショックでした。

3日の間、スタッフのお兄さん、

お姉さんと、汗し、涙しながら、取っ組み合って仲良くなっていく様こそが、このキャンプの主旨であり、そして、開設時の三気の里を思い出すことでした。知らぬ人にも、忘れていた人にも、新たな感動を残してくれたのではないでしょうか。

協力して頂いた、お子さん、スタッフの皆さんありがとうございました。



我が家の夏休み

田中満子

僕は二十歳になったばかりの新一です。毎週土、日に帰宅していましたが8月4日から2週間夏休みとかです。いつもの様に大津のケンタッキーの前で興奮して大はしゃぎしながら帰宅しました。

夏休みがどういう事か分からないので2～3日は毎朝カバンを背負って行かないでも良いのかを確かめました。園と違って、いつもの日曜帰宅のスケジュールの片付け、掃除を済ませるとやる事が無くて困ります。それで、有りったけの新聞を集めて来て興味のある所を捜します。又、熊養のプールに毎日連れて行ってもらい2時間程暴れまくりました。やる事が無く、イライラした日に母上の顔に頭突きをプレゼントしたりして夏休みが終わりました。ニコニコして帰園したら大塚先生が笑顔で迎えてくれ、嬉しかったです。

ぼらんていあ通信

8月3日(土)の夏祭りには、多数のボランティアさんに参加して頂き本当にありがとうございます。夏祭りでは、これまでの最高の数だったと思います。また参加されたボランティアさんも楽しかったという声に、私たち職員も嬉しく思いました。ボランティアさんの意見感想では、デイスコが楽しかったという意見が多かったです。最初は、子供達にどう接してよいか分からなかった人も仲良くなれたようで安心しました。今回は、高校生のボランティアさんがほとんどで、若い皆さんのパワーのおかげで盛り上がったとおもいます。これからも、どんどん来て頂きたいと思えます。

P. S. 夏祭りに来て下さる方、ぜひ、着替えを持参して下さい。水も滴るいい男、女になりますので：

武藤

ボランティアありがとうございます

《城北高校》馬場先生 中島 博

田中 亮 池辺裕一 才田妙子

宮地里花 安藤和代 岩永洋一

《菊池女子高校》 富田桂子

中山美貴 松本さん 上島さん

《大津高校》 原田謙一郎

本山美穂 渡辺まき 田尻和歌子

工藤久世 砂野マリ 田中美智子

藤田法子 浅田真理 曾我あつ子

野元雅美 藤岡庸子 切原ひろみ

横田浩士 須本陽子 鬼塚政代

《市立高校》 小野リカ

《保育大》梁池敦子 山名恵美

富田優子 石貫明美 杉山寿江

《熊本大学》 杉山寿江

《一般》吉永晃子 松永ルミ子

森 隆子 本田和弘 知野木希代

坂本シマ子(散髪) 森 隆子 以上夏祭り

(歯磨き指導) 岩田由美(園内清掃) ※敬称略



こうろぎ母さんの

栄養士の話

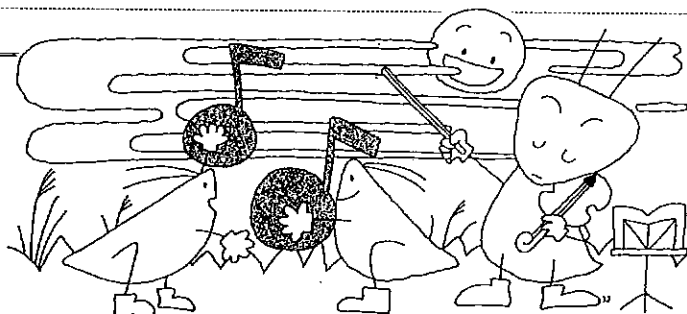
私も母親になって早くも6カ月が過ぎました。つい先日検診に行つて診て頂いた所、栄養状態良好ということ、ほっとしました。この日、離乳食の進め方についての話と試食会があり、栄養士の資格はもっているものの、母親一年生の私にとって、知らないこと、忘れてしまった事が多く、勉強になった1日でした。子供が偏食したり、お菓子やジュースばかり欲しがるのはほとんどお母さんの責任です。野菜は嫌いで食べないけど、果物は大好きだからでは困ります。野菜は、みじんぎりにしたりすりおろしたりして、コロッケやシチューに入れてみて下さい。家族の健康は、お母さんの腕にかかっています。私も肥満気味の夫と6カ月の子供をかかえて大変です。

牛嶋



9月の行事予定

1(日)	17(火)
2(月)	18(水)
3(火)	19(木) 3班レク 誕生会
4(水)	20(金)
5(木) 2班レク	21(土)
6(金)	22(日) 城北地区運動会
7(土)	23(月)
8(日)	24(火)
9(月)	25(水)
10(火)	26(木) 1班レク
11(水)	27(金) 大掃除
12(木) 4班レク	28(土) 帰宅バス運行
13(金)	29(日)
14(土) 帰宅日 保護者会	30(月)
15(日) 防災訓練	
16(月)	



後援会入会

ありがとうございます

篠崎久五

島津真一

井口俊子

水上千恵子

小野耕三

国本純雄

隅本 享

門岡葵子

八月二十七日付け

※敬称略

㊦ 後援会入会

「たんぼぼ一九八九年度版」の冊子ができあがりしました。二三号から三四号までを載せています。御購入になりたい方は、一冊千円(送料別)でお送り致します。詳しくは、三気の里へご連絡下さい。

編集後記

8月23日腸閉塞の為、緊急入院していたまーちゃん。退院のめどが立ちました。突然の要請にも拘わらずご協力戴いたボランティアの皆さんありがとうございました。